

## 札幌市議会・DX 推進調査特別委員会が当研究所を視察しました (2025/8/6)

テーマ：スマートシティ・防災コミュニケーション  
会場：災害科学国際研究所セミナー室

2025（令和 7）年 8 月 6 日（水）、札幌市議会の「大都市税財政制度・DX 推進調査特別委員会」より、中川委員長をはじめとする議員・随員の方、総勢 14 名が行政視察調査の一環として当研究所を訪問されました。

冒頭、一行を代表して、本学卒業生でもある中川委員長からご挨拶をいただきました。続いて、当研究所の栗山進一所長が歓迎の意を述べ、東日本大震災の教訓から設立された当研究所の理念や、災害から命を守るための備えについての学際的な研究アプローチである「防災コミュニケーション学」について紹介しました。

次に、仙台市まちづくり政策局より、本学も運営に深く関わり防災課題にも取り組んでいる「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」の活動や、官民連携の実証支援事業「センダイ・クロス・ラボ」、市民向け情報ポータルサイト「SENDAI ポータル」の導入・運用など、DX を活用した先進的なまちづくりの事例が紹介されました。

質疑応答では、仙台市の事例を踏まえ、札幌市における DX 推進のあり方や、市民への効果的な情報伝達手法などについて活発な意見交換が行われました。

視察の最後には、1 階の展示スペースにて、鎌田健一特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が当研究所の多様な研究・活動について解説し、議員の皆様は熱心に耳を傾けておられました。

当研究所は、今後も全国の自治体との連携を深め、科学的知見に基づく災害に強いまちづくりの実現に貢献してまいります。



視察団に挨拶の講話をする栗山所長

文責：鎌田健一（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）